

いわき地域環境科学会会報



ふいーるど

FIELD No.97号

< 目 次 >

【依頼】	
☆ アンケートのお願い	1
【報告】	
☆ 第24回発表会の開催	4
☆ NPOいわき環境研究室の動きから	6
【リレーエッセイ】	
モンレーベイ水族館見聞録	7
【事務局から】	
☆ 会誌「EQUAL」バックナンバーの頒布について	8

【依頼】

アンケートのお願い

拝啓 早春の候 皆様には御健勝でお過ごしのこととお慶び申し上げます。日頃より会員皆様のご支援に感謝申し上げます。2011年の大震災から丸2年になろうとしている中、復旧・復興に向けた動きも活発になりつつありますが、まだまだ課題が山積しているのが現状ではないかと危惧しております。つきましては、下記のような趣旨で会員の皆様からのご意見を頂きたくお願い申し上げます。敬具

<アンケートの趣旨>

本会では、震災後、いち早く津波・原発事故による環境への影響に関する現地調査等を開始し、本会とは親子関係にある「NPO 法人いわき環境研究室」とも連携を図り、日本財団の助成やいわき市からの調査委託等を受けながら、特にいわき地区海岸部の放射線量調査や海岸林の被害の実態調査等を実施し、結果は、本会の会報・ホームページ等を通じて広くお知らせして参りました。

また、従来から本会として取り組んで参りました諸事業（自然観察会（磯の観察会）、子供環境研究発表会、発表会、会報「ふいーるど」の隔月発行、会誌「EQUAL」の発行等）も継続すると共に、昨年11月には関連団体との連携事業として豊間海岸での鳴き砂イベ

ントでは、中心的な役割を担ってまいりました。

しかしながら、現在いわき地区が抱えている環境問題は多岐に亘っており、本会の目的とする「地域環境の質の向上に寄与する」という立場から見た時、これまでの本会の活動内容に対し、ご意見を戴き、今後の活動内容に生かしていきたいと思っておりますので、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

★締切日：3月末日（同封のアンケート用紙にご記入の上、同封の封筒（切手不要）に入れて投函して下さい）

＜アンケート内容＞

原則として無記名で結構です。

＜回答者の属性に関する質問＞ 該当する番号に○印をして下さい。

- (1) 年齢層 ～ 1. 20代以下 2. 30代 3. 40代 4. 50代
5. 60代 6. 70代以上
- (2) 性別 ～ 1. 男 2. 女
- (3) 居住地区 ～ 1. 平 2. 小名浜 3. 常磐 4. 内郷 5. 勿来
6. 四倉 7. 遠野 8. 小川 9. 好間 10. 三和 11. 田人
12. 川前 13. 久之浜・大久 14. その他 ()

＜事業内容に関する質問＞

(4) あなたは、現在どのような分野に関心がありますか。該当する番号すべてに○印をして下さい。

1. 森・里山 2. 川 3. 海・海岸 4. 生物 5. 地質 6. まちづくり
7. 景観 8. 環境教育 9. 自然観察 10. 自然エネルギー 11. 循環型社会づくり
12. 放射能汚染 13. 沿岸域の復興 14. 省エネルギー 15. 環境家計簿
16. 大気環境 (PM2.5、花粉等) 17. 防災 (地震、津波等) 18. 廃棄物問題
19. その他 ()

(5) 大震災後、本会として今後どのような分野の課題に取り組むことが必要と思いませんか。

該当する番号すべてに○印をして下さい。

1. 森・里山 2. 川 3. 海・海岸 4. 生物 5. 地質 6. まちづくり
7. 景観 8. 環境教育 9. 自然観察 10. 自然エネルギー 11. 循環型社会づくり
12. 放射能汚染 13. 沿岸域の復興 14. 省エネルギー 15. 環境家計簿
16. 大気環境 (PM2.5、花粉等) 17. 防災 (地震、津波等) 18. 廃棄物問題
19. その他 ()

(6) 会の活動への参加について。 該当する番号に○印をして下さい。

(6-1) ここ5年ほどの間で本会主催の事業に参加したことがありますか？

1. ある 2. 無い

(6-2) (6-1)で、「1. ある」と回答された方に伺います。参加されたのはどのような事業でしたか？

1. 総会・講演会 2. 自然観察会 3. 子供環境研究発表会
4. 発表会
5. ワーキンググループ (景観・自然エネルギー・循環型社会・環境教育) の講演会等の企画 6. その他 ()

(6-3)(6-1)で、「2. 無い」と回答された方に伺います。参加されなかった理由は何ですか？

1. 時間的な余裕が無かった。 2. 関心が持てなかったから。
3. 事業が実施されるのが分からなかったから。 4. その他
()
- (6-4) 本会では、特に震災後、屋外等での調査活動等（海岸の放射線量調査、学校の学習支援、海岸林の調査等）が増えてきており、多くの会員のご協力を頂きたいと思っております。あなたは、調査活動にご参加いただけますか。
1. 時間的余裕があれば参加したいので、調査日時等を知らせて欲しい。→ 連絡先を、設問(11)でお知らせ下さい。
2. 時間的余裕がないので参加は難しい。 3. 体力的に無理なので参加できない。
4. その他 ()
- (7) 本会では、会誌「EQUAL」を毎年1回発行してきておりますが、会誌のあり方について回答下さい。
- (7-1) 会誌は読んでいますか？
1. 毎号読んでいる 2. 時々読んでいる 3. 殆ど読まない 4. その他
()
- (7-2) 会誌「EQUAL」を読んだ感想をお聞かせ下さい。
1. 全体として難しい 2. 読みやすい 3. その他 ()
- (7-3) 記事であなたが関心を持って読んでいる記事はどれですか。該当する番号すべてに○印をして下さい。
1. 特集記事 2. 連載記事 3. レポート 4. グラビア（本会の動き）
5. 事業報告 6. 本会の活動報告 7. 会員の広場 8. 書籍紹介
9. 企業の環境活動 10. 関連団体の紹介 11. その他 ()
- (7-4) 今後保存上の観点から、会誌の発行を、従来の紙ベース（モノクロ印刷）を残すと共に、電子ファイル化（カラー保存）していこうとの動きがありますが、あなたはどのような動きをどう思いますか。
1. 賛成である（理由： ）、2. 反対である（理由： ）
3. どちらとも言えない。
- (7-5) あなたも「EQUAL」に投稿していただけますか
1. 過去に投稿したことがある。
2. 依頼があれば投稿可能である → 連絡先を設問(11)でお知らせ下さい。
3. 当面難しい。 4. その他()
- (7-6) 会誌編集内容についてご意見をお聞かせ下さい。
- (8) 本会では、会の動きを速報できるよう、会報「ふいーど」（隔月発行）とホームページへの掲載をしてきております。これらについて回答して下さい。
- (8-1) 会報は読んでいますか？
1. 毎号読んでいる 2. 時々読んでいる 3. 殆ど読まない、4. その他
()
- (8-2) 本会のホームページはご覧になっていますか。
1. 毎日見ている 2. 週一回程度見ている 3. 月一回程度見ている
4. ほとんど見ていない。 5. その他 ()
- (8-3) ホームページを見ておられる方に伺います。どのような記事を見ておられますか

か。

1. 風物詩
2. いわきの海岸環境復元プロジェクト
3. 永崎海岸浄化プロジェクト
4. 残したい地域の自然景観コンテスト
5. 行事案内・報告
6. 総会・講演会
7. 会報「ふいーど」
8. 蔵書・推薦図書
9. リレーエッセイ
10. その他 ()

(8-4) 会報についてご意見、ご要望等がございましたらお知らせ下さい。

(9) 本会では、外部機関からの調査委託などを受け易くするため、本会有志が中心となり「NPO 法人いわき環境研究室」(平成 19 年設立、会員数 18 名)を立上げ本会と連携をとりながら活動(活動の柱:①地域の調査・研究、提言、②環境教育、③地域環境の改善)してきています。この NPO に関して下記の設問にお答え下さい。

(9-1) NPO 法人いわき環境研究室の存在をご存知でしたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

(9-2) あなたは、NPO の活動に参加を希望されますか。

→ 希望される場合は、連絡先を設問(11)でお知らせ下さい。

(10) 本会の運営のあり方についてご意見を自由にお書きください。

(11) あなたの連絡先をお知らせ下さい。

○お名前:

○住所: 1. 郵送先と同じ、 2. 郵送先と異なる(連絡先:)

○E-Mail (メールでの連絡を希望される場合は、お知らせ下さい) →

ご協力ありがとうございました。なお、本アンケート内の個人情報については、他の目的に使用することはありません。

【報告】

いわき地域環境科学会 第 24 回発表会の開催

去る平成25年1月20日(日)13:30~17:00に、福島工業高等専門学校大会議室において、当会恒例の第24回発表会を開催しました。今回は自由テーマと設定テーマを区別せずに、「大震災からの地域環境の復元をめざして」というテーマで、下記の通り、東日本大震災関連の環境調査や環境改善の取り組みについて発表していただきました。

会員の和田さんからは、北欧における再生エネルギー視察のご報告がありました。国策としてのエネルギーの方向性の議論もさることながら、私たち自身がどのようなエネルギーを選択すべきかしっかりと考えていかなければならない状況にあります。そのような点で、紹介されたエネルギーの地産池消の海外事例はとても参考になるものでした。

また、今回は、当会およびNPOいわき環境研究室が行っている活動の成果報告が行われました。発災直後から行ってきた海岸の放射能汚染調査、海岸砂浜における活動の再開へ向けた取り組みとして高校生を対象とした環境学習支援、鳴き砂を守る会との

連携によるイベントの実施など、日本財団の支援を受けて行ってきた事業やいわき市の委託を受けて行ってきた調査活動の概要が報告されました。今後も継続して行われる活動であり会員の皆さんにも何かとご支援いただくことになる活動なので、この機会に内容を知っていただく良い機会になったのではと思います。

一方、若い学生の発表も5件ありました。震災にもめげずに地域の課題に取り組む学生の発表にはとても初々しさが感じられました。これから、ますます多くの機会にプレゼンテーションが求められる学生の皆さんですが、今回初陣の失敗？や成功体験は貴重な財産になるのではないかと思います。今回の学生の皆さんが取り組んで得た成果は、今後地域の環境再生に取り組む上で貴重な知見であり、当会としても参考にさせていただき貴重な財産として役立てていくことができればよいと考えております。

最後に、発表会にご参加いただいた皆様に御礼申し上げるとともに、開催にあたりご支援いただきました日本財団に対しまして篤く御礼申し上げます次第です。

記

テーマ 「大震災からの地域環境の復元をめざして」

- ①ドイツ・北欧 エネルギーコミュニティー視察報告
和田佳代子（生活協同組合パルシステム福島）
- ②いわき海星高校における環境教育活動報告
平川英人（いわき地域環境科学会）
- ③いわき市豊間海岸における「鳴き砂調査イベント」の一翼を担って
橋本孝一（いわき地域環境科学会）
- ④市内海岸砂浜における放射能汚染調査報告
中西恒雄（いわき地域環境科学会）
- ⑤海岸砂浜における砂層内の放射性セシウム濃度分布の形成に関する検討
齋藤隆人，原田正光（福島高専建設環境工学科）
- ⑥衛星画像を用いた常緑針葉樹林地および里地水田群の分析
阿部 直樹，菅野 恵太，山田 貴浩（福島高専電気工学科）
- ⑦高分解能衛星画像と現地調査による松林の調査と分析
柏原 伸也，山田 貴浩（福島高専電気工学科）
- ⑧航空写真画像を用いた海岸林の面積算定
熊倉 健，水野 壮一郎，山田 貴浩（福島高専電気工学科）
- ⑨樹木の葉に含まれる放射性セシウムとその溶出特性
遠藤拓哉，原田正光（福島高専建設環境工学科）

※敬称略

【報告】

◇◇◇◇◇ NPO法人いわき環境研究室の動きから ◇◇◇◇◇

平成25年1月～3月1日までの活動内容についてお知らせします。

【1】平成24年度第1回理事会を開催しました。

平成25年2月20日(水)、福島高専専攻科棟内の会議室にて、本年度第1回目の理事会を開催しました。理事会では、まず、平成24年度総会(H24.6.16)以後に取り組みました事業内容の報告、会計中間報告がありました。

- 地域環境についての調査研究および政策提言事業では、(1)いわき市観光物産課からの「いわき市海水浴場の放射能汚染状況の調査」委託事業として、平成24年4月～平成25年3月までの期間(上半期と下半期に分けて)調査委託があり、現在、現地調査を継続実施中であること。(2)自然エネルギーの利活用については、各種講座等への参加してきたこと。

○ 地域環境についての教育事業では、(1)夏井川流域の会主催の「夏井川流域上下流交流事業」の学習支援(7/2、9/5)、(2)いわき海星高校での海岸環境学習支援を実施してきたこと。

○ 地域環境を改善するための諸活動事業では、(1)地域の環境保全団体への支援(下小川地区及び赤沼地区の農地・水環境保全団体からの依頼で、農村水環境学習支援(7/22、8/9))。

(2)福島県、いわき市主催の「中山間部ふるさと水と土保全対策事業いわき方部研修会」にて「水環境を考えよう」の題で講演。(H24.2.8)

○ その他の事業では、広報活動として、従来、独自に発行していたニュースレターを、いわき地域環境科学会の会報「ふいーど」(隔月発行)の中で、本会の動きを紹介するようになったこと。

また、今後のNPOの活動として、

学校支援事業の内、海岸環境保全に関わる支援事業では、原則、いわき地域環境科学会との共催とし、内陸部の学校からの支援は独自に実施すること。農地・水関連団体からの支援要請には積極的に対応すること。自然エネルギー関連事業の展開を積極的に推進すること。

他団体との交流事業への参加を推進すること等を確認しました。

【2】「ふくしま再生可能エネルギー事業ネット」主催の記念イベントに参加しました

2月23日、県再生可能推進センターが中心となり、知識や技術等を共有する目的で、表記の事業ネットが発足しました。同会では、今後、エネルギーに関するセミナー・見学会の開催、人材育成支援、専門部会(太陽光、小水力、バイオマス、事業化基礎検討)を設けて課題解決にむけての支援活動をする等の活動を展開することとしており、本NPOも入会の方向で検討を進めています。

【リレーエッセイ】



モントレイベイ水族館見聞録

会員 橋本 孝一

去る 2 月 13 日～18 日、「アクアマリンふくしま・モントレイベイ水族館ボランティア交流会」のツアーに参加させていただきました。小生は、アクアマリンふくしまのボランティア活動に未だ登録・参加していませんが、「縁」あつてのツアー参加となった次第です。色々と印象に残った旅でしたが、ここでは、モントレイベイ水族館での交流会に関連して感じた内容を中心にお伝えしたいと思います。

成田空港から約 9 時間かかってサンフランシスコ空港へ。予想よりかなり暖かくいわきなら 4 月頃の陽気。バスにて南下。左右に IT 企業関連のビルが林立するシリコンバレーを抜けると、右手には太平洋が一望できる変化に富んだ海岸線が広がっていました。左手は、小高い丘陵地帯になっていて、樹木がほとんど無く牧草地となっており独特の景観を醸し出していたのが印象的でした。

◆その日は、モントレイのホテルに宿泊。カリフォルニア州の水源は、ヨセミテ国立公園近くの水源やサクラメント川・コロラド川等からの導水に頼っていると聞いていましたので、水道水を味わうのも楽しみの一つでした。ホテルの水道水は、かなり飲みやすく美味。またトイレットは小水量で汚物を洗浄できるようフラッシュ力の大きいタイプのものが使われていて快適でした。

◆2 日目、モントレイのホテルを早朝に出て、モントレイ水族館へ。現地のボランティア（約 1,500 人が登録されているそうです）の方たちとの交流会の後、私たちは 8 人程度のグループに分かれて館内を案内していただきました。子供たちでも理解できるよう分かりやすく展示内容が工夫されていました。

内でも、写真に示したようなオブジェが数点展示されているコーナーがあり、何だろうと思って近付いてみると、それらは、海岸への漂着物によって作られたものでした。地元ボランティアの方の説明では、地元では、美しい海岸・砂浜を守るために汚水等が流入しないよう適切に処理する等、環境保全には意識的に取り組んでいるとのこと。水族館は、浜辺に隣接しており、館のバルコニーからは透明感溢れた太平洋を見渡すことができます。沖合数十mには、ジャイアントケルプが漂い、ラッコがお腹を上にしての姿が浪間に見え隠れしていました。翻って、我いわき海岸では、家庭排水等が直接浜辺に流入していたり、ごみ等が散乱していることが多い光景が重なり、何とかしたいとの強い思いに駆られた見学会でした。

◆因みに、その後旅は、サンフランシスコの博物館、動物園等を視察し、無事帰国できました。



【事務局から】

《会誌「EQUAL」バックナンバー頒布のお知らせ》

当会の会誌「EQUAL」は、これまでに第25号まで発行してまいりました。事務局ではバックナンバーを保管しておりますが、保管場所の都合から従来のように多量の冊子の保管が困難となりましたので、このたび希望される会員の皆様に「EQUAL」のバックナンバーをお譲りすることになりました。つきましては、バックナンバーを御希望される方は事務局までお知らせ下さい。なお、1つの号につき1冊とさせていただきます。(複数の号を御希望される方はご相談ください。)

★「EQUAL」バックナンバーの申込方法

様式は自由ですが、郵送先の住所・会員氏名・御希望のバックナンバーの号をご記入のうえ、下記のいずれかの方法で事務局までお申し込みください。お知らせいただきました個人情報、会誌「EQUAL」バックナンバー送付の目的以外には使用しません。

○ 郵便による方法

〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾 30
福島工業高等専門学校 地域環境テクノセンター内
いわき地域環境科学会事務局 宛て

○ FAXによる方法

FAX 番号：0246-46-0843

○ 電子メールによる方法

いわき地域環境科学会事務局メールアドレス： mail@essid.org

なお、残部の状況によりましては御希望に添うことができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

2013.3.1

No.97

発行：いわき地域環境科学会

福島工業高等専門学校

地域環境テクノセンター内

〒970 - 8034

いわき市平上荒川字長尾30

TEL. 0246 (46) 0821

FAX. 0246 (46) 0843

E-mail： mail@essid.org

URL： <http://www.essid.org/>